

くずまき 議会だより

3月定例会議

2020（令和2）年
4月15日発行
岩手県葛巻町議会

No.191



「まちづくりへの思いを伝える」

2年度予算決定

新庁舎と新大橋の整備を促進

2p

新年度の注目事業

6p

町財政をめぐる動向は 4議員が一般質問

10p

町民の声を聴く 小・中学生とのふるさと懇談会

18p

笑顔のつどい³⁸



表紙

「中学生とのふるさと懇談会」
に参加する生徒の皆さん
(関連19・20P)

新庁舎と新大橋の整備促進

2年度 当初予算決定

3月定例会議

3月定例会議は、3月6日から17日までの12日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、吉田教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は2年度一般会計予算など23件で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

一般会計

前年より約2億円減

2年度の一般会計当初予算は、67億9715万円の前年度に比べて1億9501万円、2.8%減少しました。

自主財源の確保が課題

収入は全体の44.9%を占める地方交付税が30億5000万円、前年度に比べて1億2000万円、4.1%増加しました。町税は4億7296万円、前年度に比べ

て54万円、0.1%の増加です。基金からは3億7533万円を繰り入れ、各種まちづくり事業の財源としました。

自主財源の割合は15.3%。地方交付税などの依存財源に頼る財政構造で、引き続き自主財源の確保が課題です。

建設事業の割合が大

支出は2年目となる新庁舎等建設事業、大橋架け替え工事などにより**投資的経費**(※)が20億2669万円、予算全体の29.8%を占めています。



新庁舎建設予定地と現庁舎

特別・企業会計当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	8億4,505万円
農業集落排水事業	2億1,552万円
後期高齢者医療事業	7,766万円
計	11億3,823万円
企業	
病院事業	12億2,660万円
水道事業	2億9,803万円
計	15億2,463万円

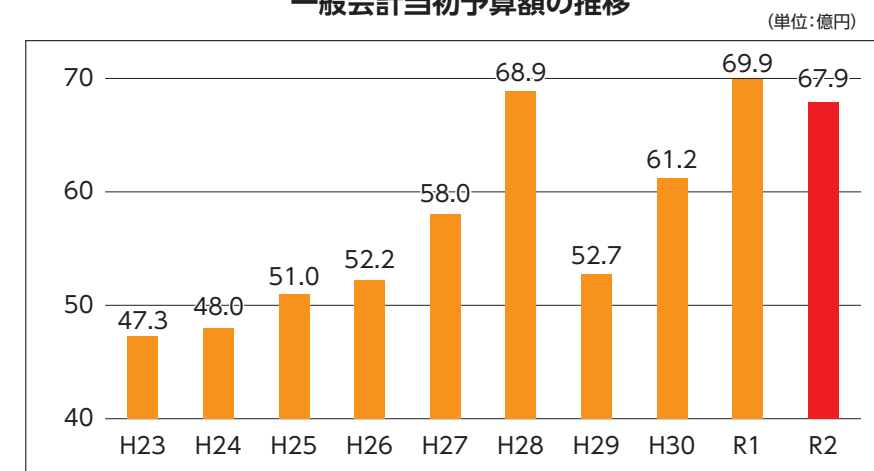
※病院事業会計と水道事業会計は、収益的収支の支出額と資本的収支の支出額を合算した額

国保の医療費が減

特別・企業会計

三つの特別会計の当初予算総額は、11億3823万円、前年度に比べて1億1294万円、9.0%減少しました。国民健康保険特別会計の医療費の減少によるものです。二つの企業会計の当初

一般会計当初予算額の推移



約10年前は公債費や人件費の抑制に努め、財政の健全化に取り組んでいた時期でした。

平成27年度からは江刈小学校校舎改築、葛巻病院改築、養護老人ホーム葛葉荘改築、町道茶屋場田子線改良整備など老朽化した公共施設等の更新や、新たな基盤施設の整備に取り組んでいます。

れた内容です。

一般会計予算の詳しい内訳は4〜5ページを、主な新規事業は6〜7ページをご覧ください。

(※) 投資的経費
施設建設など社会資本の整備にかかるお金



町長 施政方針 (要約)

合併65年の節目

今年、昭和30年の1町2村の合併から65周年を迎えます。新たなまちづくり拠点として行政、交流、防災、商工・金融、医療の機能を集約・複合化した新庁舎建設工事が本格的に始動します。林業のまちのシンボルとなる、新大橋の木橋架け替

え工事が進むなど、まちづくりの基盤が大きく変化する年となります。新たに町総合計画・中期基本計画と、第2期総合戦略がスタートすることから、推進体制を強化するため行政組織機構を見直します。

最重要課題である人口減少に対応するため、国・県の動向を注視し住民ニーズを的確に捉え、英知を結集して「葛巻らしい」「葛巻だからできる」施策に取り組みます。

予算総額は、15億2463万円、前年度に比べて3265万円、2.2%増加しました。

病院の職員住宅を整備

病院会計は、職員住宅の整備と医療機器の購入により、収益的支出と資本的支出の総額が441

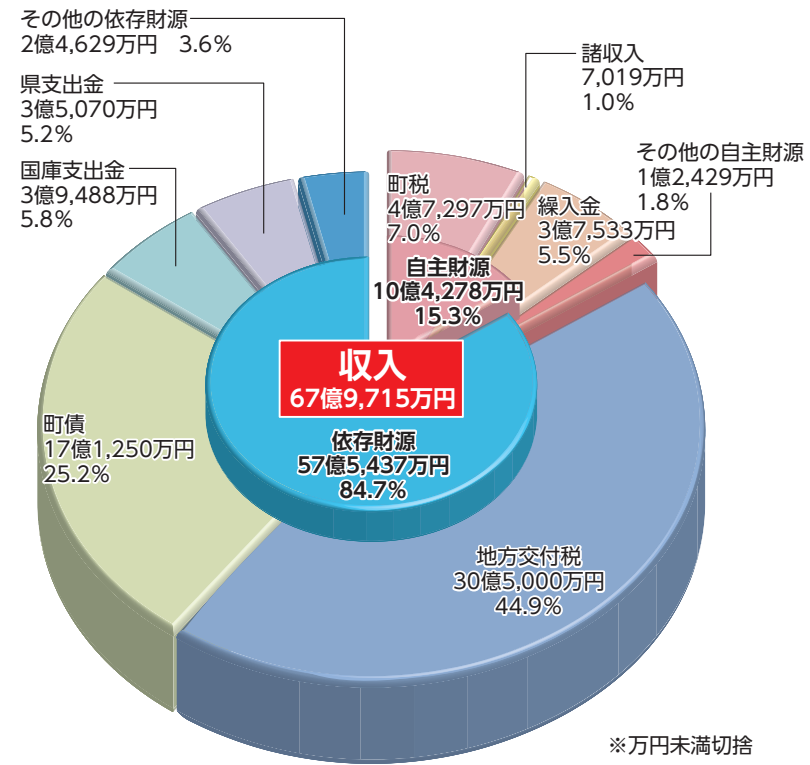
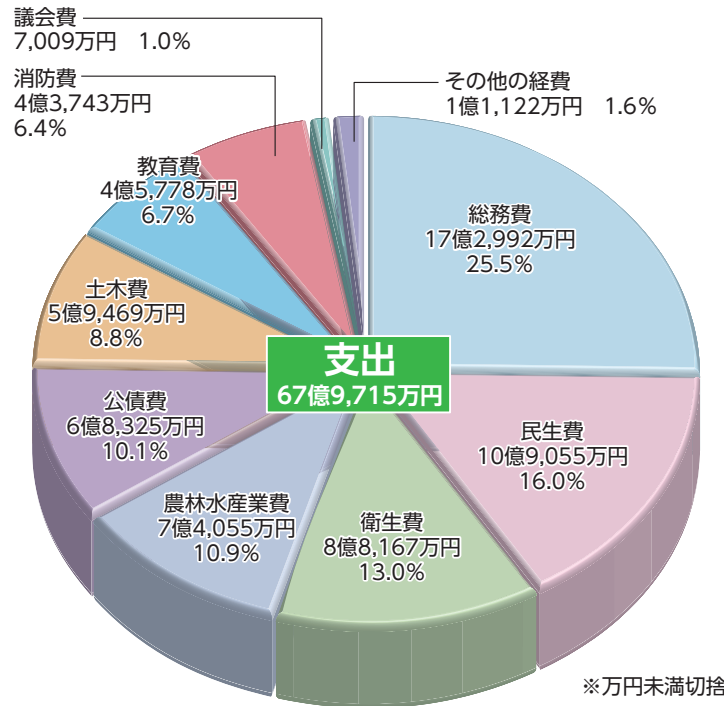
工事費と修繕費は減

1万円、3.7%増加しました。

水道会計は、水道整備工事費と漏水修繕費の減少により、収益的支出と資本的支出の総額が1145万円、3.7%減少しました。

支出 公債費 増加傾向 収入 交付税 4割占める

項目	摘要
総務費	情報通信基盤などの維持管理、行政事務などにかかる経費
民生費	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営など社会保障にかかる経費
衛生費	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などにかかる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業などにかかる経費
消防費	防災や災害時の活動などにかかる経費
議会費	議会の運営にかかる経費
その他の経費	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	摘要	
自主財源 (町が自力で収入)	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町有建物等の移転補償費など
	繰入金	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	その他の自主財源	分担金、負担金、使用料、手数料、寄付金など
依存財源 (国・県などから交付)	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金など

予算67億円を町民一人あたりにすると

繰入金 8.2%

93,000円

1,134,000円

(2年2月末の人口 5,991人)

人件費 13.7%

156,000円

負担金等 17.9%

203,000円

公債費が前年より約5万円も増えたわ。



扶助費 6.0%

67,000円

物件費 14.3%

163,000円

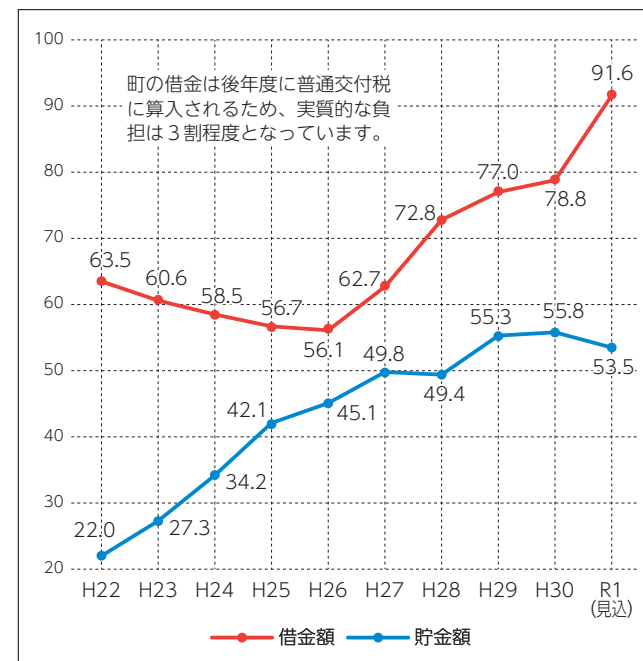
建設事業費 29.8%

338,000円

公債費 10.1%

114,000円

町の借金と貯金の推移 (単位: 億円)



町の借金は12億円増
 町の借金は後年度に普通交付税に算入されるため、実質的な負担は3割程度となっています。
 町債の元年度末の見込額は91億6,979万円です。前年度に比べて12億8,273万円、16.3割増加しました。後年に一部が地方交付税で収入となる町債を使い、負担軽減を図っています。町民一人当たり(2年2月末の人口: 5,991人)、約15万3千円になります。

町の貯金は2億円減
 ※主要4基金
 ・財政調整基金
 ・町債減債基金
 ・地域づくり振興基金
 ・公共施設等整備基金
 町の貯金は前年度に比べて2億3,735万円、4.2割減少しました。町民一人当たり約89万円になります。平成22年度以降の町の借金と貯金の推移は、左の表のとおりです。

2年度 注目! 事業

主な新規事業をお知らせします。

町65周年記念事業



予算額
600万円

町村合併65周年を契機とした新たなまちづくりの推進に向けて、式典など記念事業を実施

道の駅レストラン建設



予算額
1億4,846万円

道の駅ぐずまき高原の敷地内に新たなレストランを建設し、道の駅の魅力向上と農産物などの振興を図る

高齢者福祉施設整備



予算額
3,381万円

高齢者福祉施設を整備するための用地取得や概略設計など（3年度着工予定）

ラジオ受信設備移設



予算額
250万円

ラジオ受信点の設備を移設更新し、各家庭の防災ラジオに雑音のないクリアな放送を配信

ぐずまきまち
「葛巻町」という 宝箱から
今年は“も〜っと”すごい
宝物が出て きたぞ〜

文化活動支援事業



予算額
100万円

町民の自発的な文化・サークル活動を支援

リサイクルセンター改修



予算額
2,500万円

計量設備の更新や倉庫新築など、リサイクルセンターの機能強化に向けた施設改修工事

トンネル長寿命化工事



予算額
1,000万円

劣化が著しい上外川トンネルに漏水対策などの長寿命化修繕を行い、通行車両の安全確保を図る



2年度予算を見る

～輝くふるさと常任委員会～

3月12日に、2年度当初予算の審査を行いました。
主な質疑の内容をお知らせします。

デントコーン 収穫効率化

農林 環境

問 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費の内容は。

答 酪農家のデントコーン収穫作業などの効率化を図るため、自走式ハーベスターを導入する経費に30割助成するもの。

マイナンバー

住民 会計

問 マイナンバーカードの交付率は。

答 約19割で、県内市町村で最も高い交付率となっている。今後も普及啓発を図っていく。

住宅改修

建設 水道

問 鳩岡住宅の改修内容は。

答 住宅32戸のうち、28戸の浴槽を整備する。残りの4戸は、元年度に整備を実施している。

公共交通

総務 企画

問 地域公共交通再編支援業務の内容は。

答 元年度に公共交通について、乗降調査や抽出アンケートなどを行った。その結果を踏まえ、2年度はコミュニティバスの計画策定と実証調査を行う。

予算編成

総務 企画

問 2年度予算の特徴と重視した点は。

答 特徴は、新庁舎建設など建設事業費が高い割合となっていること。重視した点は、将来のまちづくりに向けたハード、ソフト両面の先行投資と、それに対する将来負担のバランスを考慮し事業を精査したこと。

DMO事業

総務 企画

問 ぐずまき型DMO事業の進捗状況は。

答 6つの検討部会を設置し、エリアビジョンを作るなどの取り組みの中から、空き店舗を活用した起業があった。各部会での活動を通じて、さまざまな世代や団

ンターの機能を持つ施設を三年度着工する見込み。

排水処理

建設 水道

問 農業集落排水事業の最適整備構想策定業務とは。

答 元年度に四日市と田子にある排水施設の点検を行ったところ、5段階評価で中間の判定だった。部分的な修繕が必要となるもので、処理場のポンプなど今後の修繕整備を計画する。

歩道整備

建設 水道

問 茶屋場田子線の歩道整備予定は。

答 役場線との合流地点から、葛巻中学校方面の国道までの1210メートルを歩道整備区間とする。歩道の幅は2メートルを想定し、馬淵川側の片側歩道として。

鳥獣駆除

農林 環境

問 有害鳥獣に関する捕獲実績は。

答 県の許可が必要なツキノワグマは、元年度9頭で、許可が不要のニホンジカは50頭の実績。狩猟者にはツキノワグマ1頭に1万5千円、ニホンジカ1頭に8千円の奨励金を出している。

法人数

住民 会計

問 法人税の推移は。

答 資本金1000万円以下で、従業員数50人未満である1号法人の数は減少傾向にある。減少の主な要因は、後継者不足などによる解散や清算と考えられる。減少に歯止めをかけるため、継業支援事業やぐずまき型持続可能な産業づくり支援事



歩道整備予定の町道茶屋場田子線



空き店舗を活用したカフェのオープニングセレモニー

地域留学

教育 委員会

トンネル 修繕工事

建設 水道

問 トンネル長寿命化修繕工事の内容は。

答 元年度に点検を行ったところ、漏水箇所が多かったため修繕を行う。

体の方々が、地域の課題に向き合うことが成果と捉えている。

問 負担金を予算計上している「地域みらい留学推進協議会」とは。

答 全国の地域留学の制度を導入している高校が加盟している団体。高校間の情報交換や高校の情報発信をする。

賛成討論

将来の移住者、定住者確保を期待

辰柳 敬一 議員



2年度当初予算について、賛成の立場で意見を述べます。

2年度は町総合計画・中期計画の初年度にあたり基本目標である、いきいきと輝き続ける「ひと」と、誰もが住みたくなる「まち」、地域資源を活かす「しごと」の実現に向けた重点プロジェクトとして、ひとつづくり、まちづくり、しごとづくりの取り組みに、つながりづくりの視点を加え、将来の移住者確保やUターン促進に向け、一

層の取り組みを強化することとしました。行政組織の機構改革により、まなび交流課が新設され文化支援事業の創設で町民の自発的な学びをサポートする体制が強化されました。

地域公共交通再編支援業務や県北バス葛巻線運行業務などにより、町民の生活に密着した公共交通網の維持確保の対策がとられました。

国土強靱化計画策定に取り組むことにより、町民が安心・安全に生活できるまちづくりが推進されると考えます。

トヨタグループとの連携を活用した情報発信や暮らし体験ツアー、インターシップ受入事業などにより、多くの関係人口の創出に取り組み、移住者・定住者の確保を期待します。

■反対討論なし



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

問 次世代の人材育成策は

答 DMO事業で育成と確保

議員 次世代に向けての人材育成の考えと、具体的な計画は。

町長 「まちづくり」を進める上で「人づくり」は不可欠と認識している。まちづくりを担う人材を育成・確保していく上で大切なのは、人をつなぐネットワークをつくり、その中でさまざまな経験を積み「自らの地域は、自らの手で創る」との気概を持って取り組むことだと思っている。

現在「くずまき型DMO事業」に取り組んでおり、町内のさまざまな分野の人材が町の現状を踏まえ、将来に向けた課題解決に果敢に挑戦している。この事業を通じて一つの「人材育成」が進んでいると実感している。現在、個別具体的な人材育成の計画は作成して

いないが、今後まちづくりに熱い思いを持った人材を受け入れるため、さまざまな支援事業を準備しているほか、DMO事業を展開する中で人材の育成と確保を図っている。

議員 5G時代への対応と農業、林業への活用は、

町長 5Gは次世代の通信インフラとして、今年サービスが始まる通信ネットワークであり、この活用によって高度な技術革新が行われ、社会的にも大きな変化をもたらすと期待されている。5G利活用の検討を進めるため、町総合計画・中期計画で重視する視点の一つとして位置付けた。町としてこれに対する取り組みを積極的に進め「葛巻らしい」活用策に取り組みたいと考えている。



くずまき型DMO事業のサイクルツーリズム

新型コロナ対策

議員 新型コロナウィルスの対策について、町の取り組みはどうなっているか。

町長 町では「対策連絡会議」を立ち上げ、情報の共有と体制の確認を行っている。町民に対してはくずまきテレビ、啓発チラシ、ライブビジョンアプリなどで情報の伝達を行っている。

学校については国からの要請を受け、春休みに入るまで臨時休校の措置をしているほか、卒業式の規模縮小などの対応を決めている。

葛巻病院では感染症専用の診察室を設けるなど、院内での感染を防止する対策を講じている。日々刻々と状況が変化していることから、国、県との連携を密にして万全な態勢で対応する。

～ 今ここが聞きたい ～

3月9日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 町財政をめぐる動向は

答 独自施策に国から財政措置

議員 当初予算の編成

議員 鈴木町長が最初に編成した平成20年度予算と比べ、2年度予算を編成しての所見は。

町長 町長に就任した当時は、平成12年に地方分権一括法が施行され、国と地方公共団体が対等な関係となった一方で、国による平成の大合併が強行に押し進められ、市町村の数が減少したほか、平成16年度から実施された三位一体改革などにより、地方が独自施策に取り組むことができないほど、財政的にも大きな影響を受けた時期。

そうした中、平成20年度一般会計当初予算は平成17年度からの第4次行政改革大綱の実施期間中であつたことから、予算規模は約48億円でピーク時の約7割まで減少し、特に人件費と公債費の

削減は、他市町村より厳しい目標値を掲げ重点的に取り組み、行政コスト全体を抑制し財政運営は非常に厳しかった。

その後、平成26年に国が「経済財政運営と改革の基本方針2014」を打ち出し、東京一極集中の是正、人口減少対策など自治体が独自性を持つて、各種施策を展開する地方創生の取り組みに必要な財源が措置されるなど、財政運営を取り巻く状況が変化している。

2年度当初予算は予算規模が約68億円で、ピーク時の約9割まで戻ったものの、人件費は平成20年度比95割、公債費は65割となっており行政コストを抑制しながらも、住民生活に必要な基盤整備、住民の安心で快適な生活に向けたソフト事業、町の将来を見据えた人材育成や魅力づくり事業など、



江刈地区での水道整備工事

各分野にわたり「葛巻らしい取り組み」を盛り込むことができた予算編成になったと感じる。

議員 水道事業会計の財政・経営状況と地域人口減少課題から見た、老朽化が著しい北部地区水道施設の早期改修整備の見通しは。

町長 現在、2年度から10年間の収支計画を中心

とする「経営戦略」を策定しているところだが、大きな課題は人口減少に伴う給水収益の減少と、施設整備に伴う企業債の償還が増えることによる財政状況の悪化である。

こうしたことから、北部地区の水道施設の整備は、水道事業の経営状況を踏まえ、収支のバランスを考慮しながら、できる限り早期に着工できるように検討を進めたい。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 新大橋建設の方向性は

答 町のランドマーク的施設に

新大橋の建設

議員 建設の意義と建設後のまちなかへの誘客を、どのように考えているか。
町長 大橋の老朽化に伴う架け替え工事で、地域の景観的・心理的シンボルとして整備し、新たな観光客を呼び込み交流人口を増やすようなランドマーク的施設として位置付けている。

また、屋根付き木橋にすることで林業の町をアピールしたい。さらに、「親水・散策空間」や「飲食・買い物空間」の整備を加えていく予定であり、DMO事業「くずまき観光地域づくり協議会」や「まちなか活性化協議会」などと連携を強化して誘客・集客を図りたい。
議員 町民への発表や説明が、遅かったのではないかと。
町長 建設計画の検討、



葛巻小学校の空き教室を活用した郷土資料館

の内容及び喫煙所設置の是非について伺う。

参考施設の視察、屋根付き木橋の方向性、関係諸機関との調整など、着実に進めてきた。
建設の可能性が確定するまで、新規補助事業申請などの財源確保に時間を要し、発表の時期に遅れもあった。今後、事前の収集も図りながらしっかりと進めたい。
議員 バリアフリー対策

新庁舎の設備

町長 子育て世代・乳幼児や女性に配慮したスペースの確保、高齢者や障がい者が安全に移動できるフラットフロア、多目的トイレの各階への設置など、全ての人が快適に利用できるユニバーサルデザインを採り入れた設計を心掛けた。
喫煙所は、建物内には設置しない考えであるが

文化財保護の課題

屋外については、施設周辺の状況や利用者の実態を踏まえて、今後検討していきたい。
二カ所の資料館では、小学校社会科などの見学希望があり、文化財保護委員の協力を得て活用し、努めている。
議員 町内の文化財保護や資料館の活用などは適切か。
町長 「教育行政評価委員会」では、一定の評価

資料館の専門の学芸員は、施設規模や役場の職員体制などを踏まえ、配置はしない考えである。役場新庁舎内の図書館には、利用活動を支えるコンシェルジュの配置を考えている。
美術館・資料館・文化会館などの文化施設整備計画は、当面考えていない。



やまざき ひろあき 山崎 邦廣 議員

問 公共施設を更新後の財政は

答 財政運営の安定と持続を構築

施設整備と財政運営

議員 老朽化が著しい公共施設を更新した後の、財政運営の基本方針を伺う。

町長 町の公共施設の多くは、昭和40年代半ば以降に集中して整備され、老朽化により大規模修繕や更新が必要な施設が増えている。

平成21年度に「公共施設等整備基金」を創設して財源確保に努め、国庫補助事業や有利な地方債も活用し、病院や学校などの大規模な普通建設事業を実施してきた。

現在は定住促進住宅、自治公民館などの新たな行政ニーズの整備も加わり、平成27年以降は普通建設事業費の決算額が10億円を超える状況が続いている。

新庁舎の整備や大橋の架け替えなどに着手して

おり、地方債の借入残高は4年度には110億円程になる見込みで、9年度の一般会計の元利償還金は本年度の約2倍、12億円程になると推計している。

町の基礎的財政収支は、平成27年度以降、地方債の借入額が地方債の償還額を上回る状態で、その主な要因は大規模な公共施設の整備・改修によるもので、3年度までこの状態が続く見込み。

大型の整備事業については、中長期的な計画により、事業の選択と集中をより一層強化し、時代に即した行政サービスの提供と、財政負担の平準化に努めていかねばならないと考えている。

安定的かつ持続可能な財政構造の構築には、「安定的な財源確保」「実施事業最適化による将来負



茶屋場地区に整備された若者定住住宅

担の抑制」「適正な財源配分による事業効果の最大化」が重要となる。

「安定的な財源確保」では、町の魅力を強化し町民所得の向上を図り、町税などの自主財源の確保につなげるほか、交付税・補助金・地方債などの確保も取り組んでいく。

「実施事業最適化による将来負担の抑制」では、事業の選択と集中により、実施事業の取捨選択を、また「適正な財源配分による事業効果の最大化」

では、限られた財源の最適配分により、最小の経費で最大の効果が発現されるよう取り組んでいく。

職員の見直しによる人件費の抑制、将来負担を考慮した事業選択による公債費の管理、効率的な財政運営によるコスト抑制など、歳入規模に応じた歳出の編成で、身の丈にあった財政規模を堅持し、将来を見通した総合的な対策により、持続可能な財政運営に努めていく。

議員の判断 〈議決結果〉



○議員の判断で決定した議案（賛否が分かれた議案はありませんでした。）

議案等 番号	件名と主な内容	議決 結果	賛否
議案3号	2年度一般会計予算…予算額67億9,715万円	可決	全員賛成
議案4号	2年度国民健康保険事業勘定特別会計予算…予算額8億4,505万円	可決	全員賛成
議案5号	2年度農業集落排水事業特別会計予算…予算額2億1,551万円	可決	全員賛成
議案6号	2年度後期高齢者医療事業特別会計予算…予算額7,765万円	可決	全員賛成
議案7号	2年度国民健康保険病院事業会計予算…収益的支出の予算額10億9,801万円、資本的支出の予算額1億2,858万円	可決	全員賛成
議案8号	2年度水道事業会計予算…収益的支出の予算額1億9,508万円、資本的支出の予算額1億294万円	可決	全員賛成
議案9号	元年度一般会計補正予算（第5号）…1,276万円を減額して予算額76億5,745万円に	可決	全員賛成
議案10号	元年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）…53万円を追加して予算額9億9,035万円に	可決	全員賛成
議案11号	元年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）…1,992万円を減額して予算額1億9,267万円に	可決	全員賛成
議案12号	元年度水道事業会計補正予算（第2号）…収益的支出に275万円を追加して予算額2億749万円に、資本的支出に1,000万円を減額して予算額9,227万円に	可決	全員賛成
議案13号	職員の職務の宣誓条例の改正…会計年度任用職員を追加	可決	全員賛成
議案14号	病院事業設置条例及び水道事業設置条例の改正…地方自治法の改正に伴う条文の整理	可決	全員賛成
議案15号	職員定数条例及び課設置条例の改正…総務企画課を廃止し、総務課及びいらっしやい葛巻推進課を新設	可決	全員賛成

人事案件

●人権擁護委員の推薦

丹内勉さん（茶屋場）を推薦することに決定しました。任期は2年7月1日から5年6月30日まで。



丹内勉さん

条例

●職員定数条例及び課設置条例の改正

総務企画課を廃止して総務課と、いらっしやい葛巻推進課を新設。
問 課の再編に伴い、政策秘書課を筆頭課に変更した理由は。

3月定例会議で職員定数条例及び課設置条例の改正、元年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

答 事務分担の見直しにより議会に関すること、

施策の企画立案・各種計画の策定に関することが、政策秘書課の所管となつたため変更した。
また、町長部局以外では教育委員会に、こども教育課と、まなび交流課を新設する。

●定住促進住宅条例の改正
茶屋場定住促進住宅の整備に伴う改正。単身者向け4戸分の平屋建てで、使用開始は2年4月1日。

●手数料条例の改正
手数料を徴収する業務に、住民票記載事項証明書の交付などを追加し、個人番号通知カードの再交付を削除。

補正予算

●指定管理者の指定

◇施設名 山岸自治会館
◇指定管理者 山岸自治会

一般会計を1276万円減額し、総額を76億5745万円としました。各会計の補正額と主な予算の使いみちは、下の表のとおりです。

問 収入の地方消費税交付金が648万円減額となつた理由は。
答 消費増税により当初予算では前年度より増収を見込んでいたが、増税後の消費の落ち込みが大きかったことにより減額交付となる。
問 学校通信技術環境整備事業の内容は。
答 国のギガスクール構想実現に向けて、全児童

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（第5号）	△1,276万円	76億6,745万円
国民健康保険事業（第2号）	53万円	9億9,035万円
農業集落排水事業（第1号）	△1,992万円	1億9,267万円
水道事業（第1号）	収益的支出	275万円
	資本的支出	△1,000万円
		2億749万円
		9,227万円

生徒が同時にインターネットに接続できる無線環境を整備する。
併せて町単独事業で、電子黒板機能付きの大型掲示装置も整備する。

《一般会計補正予算の主な使いみち》

- 学校通信技術環境整備事業…………… 5,505万円 全小中学校に無線LANを再整備
- 森林環境税基金積み立て…………… 1,768万円 交付された森林環境譲与税の一部を積み立て
- ふるさとづくり基金積み立て…………… 570万円 ふるさと納税のうち事業指定分を積み立て

初めての定例会議を終えて

新議員3人の感想

議席番号 1番
下屋敷 幸男 議員




初めての定例会議を終えて、勉強不足を痛感しております。全てが初めての経験でありましたし、いろんな考えもありました。今後は、日々勉強し、日々進化していきたいと思います。

議席番号 2番
遠藤 裕樹 議員



初めて一般質問を終え、準備不足や質問においても踏み込みが足りなかったことなど、反省が多くありました。次からは、しっかり準備をしたと思うような質問をし、満足のいくような質問をしたいと思っております。定例会議においても、覚えなければならぬことも多く、さらに努力してまいります。

議席番号 3番
近藤 聖 議員



緊張しながら二週間の定例会議に臨みました。町民の負託を受けた責任を感じ、身が引き締まりました。不慣れで要領を得ないところがあり、十分思ったような活動はできませんでした。今後、議会のルールや基本を守りながら、自分なりに「小さな声を議会に届ける」ことに努めてまいります。

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
議案16号	印鑑条例の改正・・・印鑑登録事務処理要領の改正に伴う条文の整理	可決	全員賛成
議案17号	町営住宅条例の改正・・・入居者資格の改正など	可決	全員賛成
議案18号	手数料条例の改正・・・除票の写し及び戸籍の附票の除票の写しを追加し、マイナンバー通知カードの再交付を削除	可決	全員賛成
議案19号	非常勤特別職の報酬条例の改正・・・学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を追加	可決	全員賛成
議案20号	定住促進住宅条例の改正・・・茶屋場定住促進住宅の整備に伴う改正	可決	全員賛成
議案21号	放課後児童健全育成事業条例の改正・・・放課後児童支援員の研修に関する経過措置の延長など	可決	全員賛成
議案22号	水道事業給水条例の改正・・・工事指定事業者の更新手数料を追加	可決	全員賛成
議案23号	情報通信技術を活用した行政推進条例の制定・・・情報通信技術を利用し手続きの利便性向上を目的とした条例を制定	可決	全員賛成
議案24号	公の施設に係る指定管理者の指定・・・施設名称:山岸自治会館、指定管理者:山岸自治会	可決	全員賛成
議案25号	人権擁護委員の推薦・・・丹内勉さん(茶屋場)を推薦	適任	全員賛成

【3月会議】
3月19日に3月会議が行われました。教育長の任命などが提案され、原案どおり決定しました。

●教育長任命の同意
高畑嗣人さん(盛岡市)を任命することに同意しました。任期は前任者の残任期間で、2年4月1日から2年12月31日まで。

●大橋下部工の工事
新たに架ける大橋の橋台、橋脚の設置など。
◇契約額 6886万円
◇工期 翌年度に繰り越し、3年2月まで。
◇契約相手 (株)ビルド遠藤



高畑嗣人教育長

○議員の判断で決定した議案 (賛否が分かれた議案はありませんでした。)

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
議案26号	大橋下部工(その2) 工事の請負契約の締結・・・請負者:(株)ビルド遠藤、契約金額:6,886万円	可決	全員賛成
同意3号	教育長任命の同意・・・高畑嗣人さん(盛岡市)を任命することに同意	同意	全員賛成

小学生とのふるさと懇談会

1月27日に町内4小学校の高学年44人が、総合センター大集会室で、意見交換を行いました。在籍する学校の枠にとらわれなくて意見交換を行い、自分たちが住む町のことを考えて発表しました。

議長あいさつ

懇談会の冒頭、中崎議長が「私たちは県内市町村の中で最も少ない10人の議会です。議員は町民の代表として、学校のさまざまな要望などを議論し、町と一緒に皆さんが勉強や運動をしやすくなるように考えています。皆さんが勉強していること、大変とされていることを私たちに教えてください。皆さんの意見をもちに、しっかりとしまちづくりをしていきたいと思っていますので、よろしく願います。」とあいさつしました。

グループで意見交換

各学校の紹介を行い、6つのグループに分かれて、町の良いところ「自然が豊かで空気がきれい」を伸ばすこと、町の困ったところ「文房具屋

良いところを伸ばす

- 川や畑にごみを捨てない。
- 歩ける距離では車を使わない。
- ごみの分別をきちんとする。
- 使っていない建物を利用してお店にする。
- 植物を植え、森の手入れをする。
- 廃品回収をして、町をきれいにする。
- レジ袋などを再利用する。

町をもっと良くする

- 空き地などに店を増やし、今ある店でも販売する商品の種類を増やしてもらう。
- 今ある店を若い人が引き継ぐ。
- 店をやりたい人を募集する。
- 人口が少ないので、多くの人から葛巻に来てもらうようにする。

小学生の感想

- 町のことに、ほかの小学校のみんなと絆が深まった。これからも、このような機会を町のことを考えてい

見を出し合えて、良い経験になった。
みんなが町の未来について、話し合うことができた。全員が真剣に話し合えて良かった。
ほかの小学校のみんなと絆が深まった。これからも、このような機会を町のことを考えてい



参加した小学生と議員

中学生とのふるさと懇談会

中学生の政策提言

【葛巻中学校】

- 役場庁舎に学習スペースがあれば、町全体の学力向上が図れる。
- アスレチック用具やバスケットボールができる広場の整備、総合運動公園のグラウンドを子どもだけでも借りられるようになれば良い。
- 町のクリーンエネルギーやワイン造りなどを学べる施設があれば良い。
- 安心して登下校できるように歩道が整備されれば良い。
- 町内3中学校を統合して一つの中学校にするこ

とで、学習や部活動が充実する。

議員 学習スペースに

あったら良いと思う機器や道具は何ですか。

生徒 タブレットパソコン、参考書、パーテーションの設置をしてほしい。

議員 歩道整備の場所はどこが良いでしょうか。
生徒 茶屋場から四日市までの歩道がない区間で

【小屋瀬中学校】

- 多くの人が生活する町、商店が多く生活しやすい町であってほしい。
- 産業や職場を創生するために、ジビエを活用した仕事を考えては。

議員 商店が多く生活しやすい町にするためのアイデアがありますか。

生徒 もっと活気がある町にして、働く場所を増

やし企業を誘致して人口を増やす。

議員 ジビエを安定的に確保するための解決策は何でしょうか。

生徒 クマやシカ、ヤマドリを大規模飼育してはどうでしょうか。ハンター

を養成する学校の設立も考えました。

議員 ジビエ料理に求められる新鮮さへの対応はどのように考えますか。

生徒 冷凍技術や加工技術の進展で、保存が可能ではないでしょうか。

【江刈中学校】

- 町のシンボルとして、森の中に図書館を造っては。
- 授業を通じて他校との交流を図るため、期間限定で交換交流をしては。
- 地域でさまざまな世代が集えるイベントを開催し、世代を超えた交流をすることで地域文化の継承が図られる。
- 議員 森の図書館にどんな設備があれば良いと思いますか。
- 生徒 休憩スペースをつくることで、コミュニケーションが取れます。
- 議員 他校の生徒と一緒に学習することで、どんな力がつくと思いますか。
- 生徒 コミュニケーション能力や、説明力の向上が図られます。



議場で政策提言をする中学生

1月29日に町内3中学校の生徒と、議場で町政などに対する意見交換を行いました。各中学校からより良い町になるための政策提言がありました。

くずまきの笑顔

中学生とのふるさと懇談会

葛巻中学校から参加した生徒の皆さん



小屋瀬中学校から参加した生徒の皆さん



江刈中学校から参加した生徒の皆さん



情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各種団体の総会、式典などの会費が主なものです。

1月	35,000円	(町民総合体育大会総合閉会式ほか)
2月	34,500円	(町安全協議会研修会並びに懇談会ほか)
3月	0円	(なし(新型コロナウイルス感染拡大防止の影響))

次の定例会議は**7月3日(金)**です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約101円で作成されています。
印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

今回の議会だよりから、新人議員3人全員が編集委員になり、原稿づくりなど頑張っております。町民の皆さんから親しまれ、楽しんでいただけるような紙面づくりをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

皆さんの声なども聴かせていただきたいので、お気軽に議会事務局へご意見をお寄せください。

広報常任委員会
副委員長 遠藤 裕樹

編集後記

森林認証した紙を使用しております。

